




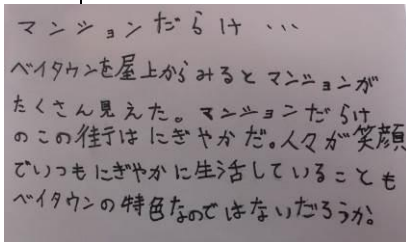






①事業実施報告書詳細

事業実施報告書詳細

学校名 千葉市立海浜打瀬小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1～2 （総合）	教室	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにとって「ふるさと」とは何か考える。 		<p>○「ふるさと」に対して漠然としたイメージだったが、互いの考えを知ることによって、自分達が今住んでいる街も「ふるさと」だということに気づき、これからの学習に対する意欲が高まった。</p>
3～4 （総合）	教室	<p>○テーマ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとペイトウンのよい点、改善点は何か考える。 ・よい点をより広めるため、改善点を直していくために自分たちには何ができるか考える。 ・よい点をより広めるにはどのような写真を撮ったらよいか考える。 ・フィールドワークの計画を立てる。 		<p>○よい点と同じくらい改善点が挙がり、「ふるさと」をよりよくなりたいという意欲をもったり、「ふるさと」のために自分たちは何ができるのか考えを深めたりすることができた。</p> <p>○改善点の多くが「ごみ」に関することで、みんな同じ思いだという共通理解が図れた。</p>

<p>5～6 (総合)</p>	<p>地域</p>	<p>○フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが決めたテーマに沿って写真を撮る。 ・写真を撮る際に、ごみ拾い活動を行い、ベイトウンの景観をよりよくなる。 	 	<p>○活動を始めると、今まで意識していなかった「ふるさと」のよさが見え、夢中になって写真を撮っていた。</p> <p>○ごみの多さに驚き、活動を続けていきたい、地域の人にも現状を知ってほしいという思いをもった。</p>
<p>7～8 (総合)</p>	<p>教室</p>	<p>○写真に言葉を添える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのテーマにあった写真を選び、ベイトウンのよさが伝わるように言葉を添える。 	  	<p>○活動を通して「ふるさと」に対する思いが高まり、言葉を選ぶのに迷っている子どもが多かったが、互いに相談し、よいものにしていった。</p> <p>○同じような写真を撮り、選んだ子どももいたが、題の付け方やコメントが違い、それぞれの思いが表現できた。</p>
<p>9～10 (総合)</p>	<p>教室</p>	<p>○地域マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベイトウンの拡大地図に、自分たちの写真をまとめる。 ・ごみ拾い活動の結果を地図にまとめる。 		<p>○拡大地図が写真でいっぱいになり、「ふるさと」によいところが多くあり、誇らしげにしていた。また、空い</p>

		 	<p>ているスペースがあるのに気づき、よさを見つけたいと意欲をもった子どももいた。</p> <p>○ごみの種類から、大人も子どもも素敵な景観を守るために環境に対する意識を高めなければいけないという思いをもった。</p>	
11 ～12 (総合)	教室	<p>○鑑賞会・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各クラスの写真をここに添えられた言葉を見たり、読んだりすることで、ベイタウンのよさを再認識する。 作成したごみマップを見て、今後のごみ拾い活動に生かそうとする。 	 	<p>○もっと素敵な写真が撮れるように「ふるさと」のよさを増やしていきたいという意欲をもった。</p> <p>○友達の作品を見て、「ふるさと」のよさがさらに見つけられ、「ふるさと」に誇りがもてた。</p>

②学習指導案

学習指導案

単元名 (全 12 時間)	わたしたちのまちに言葉の贈りもの
学習のねらい	<p>○ベイタウンを見つめ直し、自分のふるさとに誇りや愛着をもつ。</p> <p>○地域の一員としてよりよい街にしていこうと考え、実践する力を養う。</p>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> ふるさとベイタウンについて話し合う。 フィールドワークを行うことで、ベイタウンのよい点・改善点を再認識する。 ベイタウンのよさが伝わるように、写真に合う言葉を考える。 ごみマップを次年度のクリーン活動に生かす。

準備品	準備品・・・デジタルカメラ、地域の拡大地図、掲示用パーテーション
実施場所等	実施場所・・・教室、地域（バイタウン）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1・2	○ふるさとバイタウンについて話し合う。	○ウェビングを用いることで「ふるさと」についてイメージを広げ、課題設定の支援をする。	○関心・意欲・態度
3・4	○ふるさとバイタウンのよさを伝えるためには、どのような写真を撮ったらよいか考える。 ○フィールドワークの計画を立てる。	○KJ法を用いることでふるさとバイタウンのよい点・改善点を出しやすくする。 ○よい点を広めたり、改善点を直したりするために何ができるか、例を示す。 ○ふるさとバイタウンのよさを伝えるためにはどのような写真を撮ったらよいか、例を示す。また、その写真にはどのような言葉を添えればよいか考えさせ、学習の見通しをもたせる。 ○「景観」や「環境」の視点をもたせる。建物や人物だけに視点が限定しないように、視野を広くもって構図を考えるようにする。 ○地図を見て、どのようにまわれば、効率よくフィールドワークができるか考えさせる。ごみ拾いの観点から、子どもたちがいつも活動している場所を意識させる。 ○フィールドワークの注意事項を確認する。	○課題設定力 ○コミュニケーション能力 ○表現力 ○思考・判断力
5・6	○計画に基づき、フィールドワークを行う。	○写真の構図を助言する。 ○ごみが落ちている様子も写	○情報収集力

		<p>真にとり、後の学習に生かすように助言する。</p> <p>○フィールドワークの際の安全を確保する。特に写真撮影中やごみ拾い中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。</p>	
7・8	○ふるさとベイタウンのよさが伝わるように、写真に合う言葉を考える。	<p>○3・4時間目に例示した写真と言葉を用いて、どのように言葉を添えればよいか想起させる。</p> <p>○添える言葉を互いに相談し、言葉を洗練させる。</p> <p>○光る言葉を取り上げ、全体で共有する。</p>	<p>○表現力</p> <p>○思考・判断力</p> <p>○コミュニケーション能力</p>
9・10	○自分たちが調べてきたことを拡大地図にまとめる。	<p>○言葉を添えた写真を見る人がわかりやすいように考えながらまとめるように助言する。</p> <p>○ごみマップには、ごみの種類や、落ちていた場所がわかるように考えながらまとめるように助言する。</p>	○情報活用力
11・12	○ふるさとベイタウンのよい点、悪い点を再認識し、次年度の活動に生かす。	<p>○各クラスで作り上げたマップを展示し、ベイタウンのよさを再認識させる。また、そのよさを維持していく意欲をもたせる。</p> <p>○ごみマップは次年度の縦割り活動で行うクリーン活動で活用することを伝える。</p>	<p>○思考・判断力</p> <p>○問題解決力</p>

<留意点>

○ベイタウンのよさが伝わるように写真に添える言葉を吟味し、お互いの作品を見合ったときに自分たちのふるさとに誇りをもてるようにしたい。そこから、ふるさとベイタウンのために自分たちができることは何か考え、実践していく意欲につなげていきたい。

○今回の活動が単発で終わるのではなく、次年度へもつながるように作成した資料等は校内や地域で活用していきたい。